

6億6785万2千円の黒字

地方交付税 (26.6%)
29 億 4003 万 6 千円

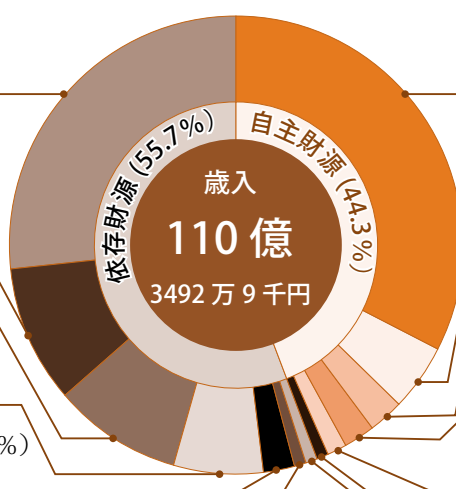
国庫支出金 (9.7%)
10 億 6597 万 3 千円

町債 (9.2%)
10 億 1278 万 9 千円

県支出金 (6.2%)
6 億 8916 万 5 千円

地方消費税交付金 (2.3%)
2 億 5121 万 3 千円

地方譲与税 (0.9%)
9694 万 4 千円



町税 (32.6%)
35 億 9776 万 6 千円

繰越金 (4.8%)
5 億 3291 万 6 千円

繰入金 (2.6%)
2 億 8547 万 6 千円

使用料及び手数料 (2.1%)
2 億 3699 万 5 千円

分担金及び負担金 (1.4%)
1 億 5836 万 1 千円

自動車取得税交付金ほか (0.8%)
8907 万 4 千円

諸収入、財産収入ほか (0.7%)
7822 万 1 千円

■歳入
歳入のうち、自主財源の合計は48億8973万5千円で、前年度と比較して2億4615万5千円増加しました。主な要因は、平成24年度に土地開発基金を廃止したことに伴い積立金

一般会計の決算額は、歳入が110億3492万9千円、歳出が103億3818万円となり、差し引き6億9674万9千円の黒字決算となりました。繰越明許費として翌年度に繰り越すべき財源が2889万7千円ありますので、これを除いた実質の黒字は6億6785万2千円になりました。

一般会計 黒字 6億6785万2千円の黒字

2億8360万円を繰り入れたことによるものです。主な自主財源である町税は、前年度より408万2千円増加し35億9776万6千円となりました。

依存財源は、前年度と比較して1億5815万円増加しました。主な要因は、町債が借り換えなどにより2億3788万1千円増加し、また補助事業費の減により国庫支出金が1億1731万8千円減少したことなどです。主な依存財源である地方交付税は5480万8千円増加し、29億4003万6千円となりました。

■歳出
歳出合計は、前年度と比較して2億4047万2千円増加しました。主な要因は、繰り入れた土地開発基金の積立金を財政調整基金へ積

特別会計

6つの決算はすべて黒字

特別会計とは、特定の事業を行うための経費を一般会計と区別する必要がある場合に設置する会計で、6つの特別

み立てたことなどにより総務費が2億7905万1千円増加し、また町債の借り換えなどにより公債費が1億5726万9千円増加したことによるものです。

そのほかに、埋蔵文化財収蔵庫の整備や中央体育館の改修などにより教育費が1億1078万6千円増加しましたが、一方で同報系防災無線の整備や保健センターなどの移転が平成23年度に完了したことなどにより、消防費が1億6343万6千円、衛生費が1億4033万4千円それぞれ減少しました。

平成24年度
田原本町

決算

平成24年度の決算が平成25年町議会第3回定例会で認定されました。皆さんに納めていただいた大切な税金などが、住みよいまちづくりにどのように使われたのか、南小学校計画委員会の安藤未祐さんと木村開さんの2人とともにその概要を紹介いたします。

企画財政室財政課 34・2072



安藤未祐さん
(南小6年)

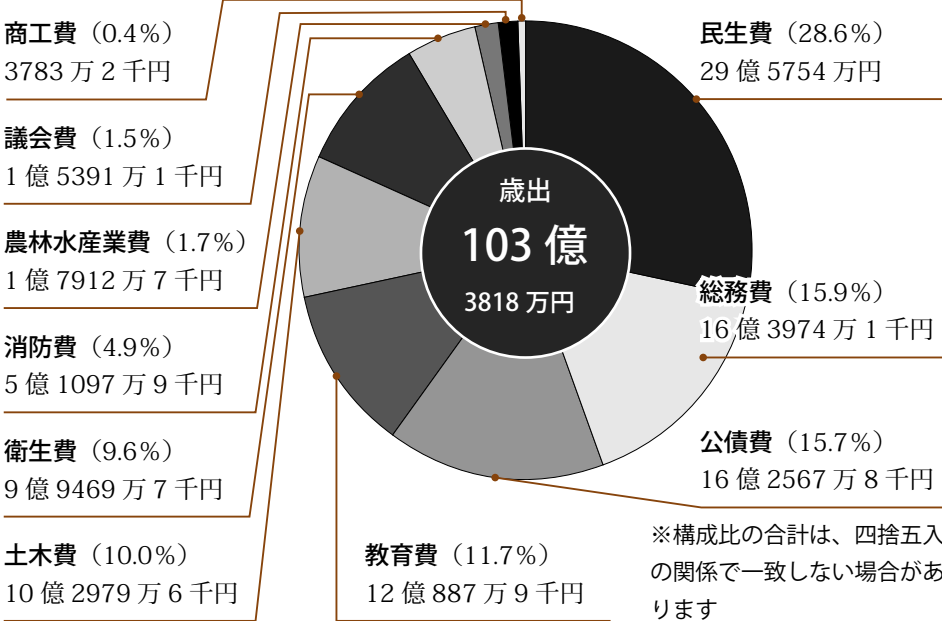


木村開さん
(南小6年)

用語の説明

- **町税**…町に納められる税金で、町民税、固定資産税、軽自動車税、町たばこ税、都市計画税があります。
- **地方交付税**…一定の行政サービスの水準を維持するために、財政力に応じて国から交付されるお金。
- **国庫・県支出金**…特定の事業に対して国や県から交付されるお金。
- **繰入金**…基金の取り崩しや他の会計から繰り入れたお金。
- **町債**…主に建設事業の財源として町が金融機関などから借り入れるお金。
- **自主財源**…町税、使用料・手数料、諸収入など、町が自ら調達できる財源。
- **依存財源**…地方交付税、国庫・県支出金、町債など国や都道府県から定められた額を交付される財源。
- **議会費**…議会運営に関する経費。
- **総務費**…町の全般的な事務経費や、庁舎管理、徴税、戸籍、選挙、統計などの経費。
- **民生費**…社会福祉、高齢者、障がい者、児童福祉、人権啓発などの経費。
- **衛生費**…保健衛生、ごみ・し尿処理などの経費。
- **農林水産業費**…農業振興や生産基盤整備などの経費。
- **商工費**…商工業や観光振興などの経費。
- **土木費**…道路・河川整備、都市計画、住宅などの経費。
- **消防費**…消防や防災などの経費。
- **教育費**…学校教育や生涯教育、文化・スポーツ振興などの経費。
- **公債費**…事業を行うために借り入れたお金を返済するための経費。

一般会計決算は



独立採算で運営を行う公営企業に水道事業があります。決算額は下表のとおりです。

収益的収支は損益計算による当年度純利益が6980万2千円生じ黒字決算となりましたが、前年度からの繰越欠損金を合算した結果、当年度末累積欠損金は1億7881万4千円になりました。また、資本的収支は2億2139万6千円の不足が生じたため、過年度分損益勘定留保資金や積立金などで補填しました。

会計の決算額は下表のとおりとなりました。

水道事業会計

収益的収支が6980万2千円の黒字

平成 24 年度会計別決算

(単位：千円／△はマイナスを表す)

会計名		歳入額	歳出額	差引額
一般会計		11,034,929	10,338,180	696,749
特別会計	国民健康保険特別会計	3,754,618	3,296,513	458,105
	住宅新築資金等貸付事業特別会計	7,462	7,395	67
	公共下水道事業特別会計	1,556,527	1,556,527	0
	後期高齢者医療特別会計	349,725	349,134	591
	介護保険特別会計	2,181,713	2,163,695	18,018
	磯城郡介護認定審査会共同設置特別会計	12,889	11,941	948
水道事業会計		収入額	支出額	差引額
		807,244	731,089	76,155
		69,125	290,521	△ 221,396

1

共に幸せを感じられる まちづくり

放課後児童健全育成事業

▶▶▶▶ 2615 万 2 千円

保護者が仕事などで昼間家庭にいない児童を対象に、学童保育を実施しています。平成 24 年度からは指定管理者制度を導入し、入所対象を小学校 3 年生から 4 年生までに広げるとともに、開所時間を拡大しました。



▲各小学校に開設されている学童保育

障害者支援事業

▶▶▶▶ 5 億 5838 万 3 千円

障がい者の自立と社会参加を促進するために、従来から行っていた介護・訓練などの給付や移動支援などの各種サービスに加え、法改正に伴い実施主体が県から町に変更となった障害児通所支援を行いました。

2

人が生きいきと輝く まなびのまちづくり

小中学校校舎の耐震化事業

▶▶▶▶ 4343 万 8 千円

教育現場での安全確保や災害時に避難場所としての役割を果たせるよう、南小学校南館、平野小学校中館の耐震工事を行いました。また、南小学校北館、北中学校北館の耐震設計を行いました。



▲耐震工事が行われた南小学校南館

中央体育館改修事業

▶▶▶▶ 5495 万 7 千円

避難場所にも指定されている中央体育館の天井パネルの落下を防止するための補強工事を行いました。また、館内のトイレの洋式化や、テニスコートの人工芝の全面張り替えなどを行いました。

平成 24 年度は、
事業に取り組みました

平成 24 年度に行った主な事業を、田原本町第 3 次総合計画の 6 つの基本施策分野ごとに紹介するよ。



町役場 2 階の情報コーナーや図書館で、決算書を見ることができます。

5

活力湧き出る産業振興 のまちづくり

農業基盤対策事業

▶▶▶▶ 8384 万 5 千円

土地改良施設維持管理適正化事業

▶▶▶▶ 766 万 7 千円

良好な田園の維持と効率的な農業の推進を図るため、水路などの農業基盤整備を行いました。また、農業用水を河川から取水する井堰いせきの老朽化が進んでいることから、既存施設の有効活用や長寿命化を図るために、主な井堰の機能診断などを行いました。

企業などの誘致・立地推進事業

▶▶▶▶ 1276 万 6 千円

市街化区域に編入した地域の企業誘致に向け、京奈和自動車道の（仮称）田原本インターチェンジ周辺地区の基盤整備を行うため、周辺道路などの概略設計を行いました。

古事記 1300 年紀事業

▶▶▶▶ 500 万円

町が生誕の地とされている太安万侶おののやすまろによって「古事記」が編纂され 1300 年という節目に当たることから、記念フォーラムやメッセージコンテスト、大和郡山市と共催でウォークイベントなどを行いました。

6

効率的な計画推進を めざしたまちづくり

基幹業務システムの共同化事業

▶▶▶▶ 5345 万 4 千円

電算経費の削減と事務の効率化を図るため、平成 22 年度から近隣の 7 市町で準備を進めてきた自治体クラウドを活用した基幹業務システムの共同化を稼働しました。

3

都市基盤が充実した まちづくり

道路新設改良事業

▶▶▶▶ 1 億 8709 万 3 千円

道路整備については、より機能的な道路網の構築を目指して計画的に進めており、平成 24 年度は町内の東西アクセスの向上を図るため宮古 25 号線の道路新設工事などを行いました。



▲ 3 月 29 日に開通した宮古 25 号線

水道施設改良事業

▶▶▶▶ 1 億 5633 万 3 千円

より安全で安心な水を供給するために、水道施設や機器の保守点検、改良などを行っています。平成 24 年度は、自己水の安定確保のための井戸の新設工事をはじめ、老朽化した配水流量計の更新工事などを行いました。

4

快適に生活できる まちづくり

唐古・鍵遺跡史跡公園整備事業

▶▶▶▶ 7421 万 6 千円

国史跡である唐古・鍵遺跡を、町民の憩いの場になるとともに歴史・自然学習の場として提供し、また観光の拠点となるよう、史跡公園として整備を進めています。平成 24 年度は、本格的整備に向け盛土造成工事と水路工事を行いました。

新たなごみ処理施設の整備に向けた 取り組み

▶▶▶▶ 1 億 2179 万 3 千円

新たなごみ処理施設については、町と御所市、五條市の 3 市町で構成する「やまと広域環境衛生事務組合」において広域処理施設の整備に取り組んでおり、生活環境影響調査などが行われました。

指標で見る財政状況

町の財政力や貯蓄、借金
を各指標を使って説明
するよ。



財政力指数

財政力の強弱を示す指数

地方公共団体の財政力を示す指標で、標準的な行政経費に対する町税などの標準的な収入の割合で表されます。行政の仕事に必要な費用をどれだけ自力で調達できるかということです。数値が高いほど財政力があり、「1」を超えると普通交付税の不交付団体となります。

平成24年度の財政力指数は0・545で、前年度に比べ0・002高くなりました。

経常収支比率

財源の余裕を示す比率

地方公共団体の財政構造の弾力性を示す指標で、町税などの経常的な収入が、人件費や公債費などの経常経費にどれくらいの割合で充てられているかを表しています。家計に例えるなら、給料など毎月決まって入ってくるお金が、食費や光熱水費、ローンの返済など必ず支払わなければならない生活費にどれだけ使われているのかを示すものです。この比率が高くなるほど財源

に余裕がなくなり、新たな施策や道路・公園などの整備に充てる費用が少なくなることの意味します。

平成24年度の経常収支比率は89・5%で、人件費や物件費などの経常経費が増加したことに加え、普通交付税などの経常的な収入も減少したことから、前年度に比べ0・9ポイント増加しました。

基金残高

町の貯金はいくら？

土地開発基金の廃止により、平成24年度末の普通会計の基金は6つとなりました。町の純粋な貯蓄といえる財政調整基金と減債基金の残高合計は14億3087万8千円で、土地開発基金に積み立てていた2億8360万円を含め3億8360万円を財政調整基金に積み立てたことなどにより、前年度末に比べ3億8493万4千円増加しました。

町債残高

町の借金はいくら？

町では、道路や学校などの公共施設の整備資金や、地方交付税からの振り替えによる臨時財政対策債などの借り入れを行ってきました。

平成24年度末現在の普通会計の町債残高は116億4916万6千円で、前年度末に比べ4億4121万8千円減少しました。町債残高は平成16年度をピークに毎年減少しています。

また、特定目的のための基金として福祉基金、ごみ処理施設整備基金、住宅新築資金等運用基金、ふるさと応援基金があり、これらの残高合計は18億9957万9千円で、ごみ処理施設整備基金に2億円積み立てましたが、土地開発基金を廃止したことなどにより、前年度末に比べ7960万8千円減少しました。

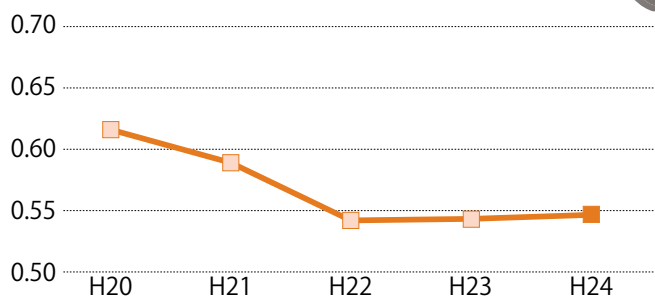
主な財政指標

	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
財政力指数	0.616	0.589	0.542	0.543	0.545
経常収支比率 (%)	93.6	94.0	87.9	88.6	89.5
基金残高 (千円)	2,014,440	2,217,663	2,721,549	3,025,131	3,330,457
町債残高 (千円)	14,168,349	13,241,997	12,591,419	12,090,384	11,649,166

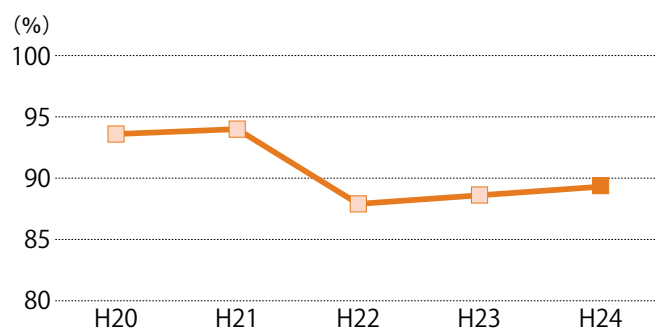
グラフで見る 財政指標



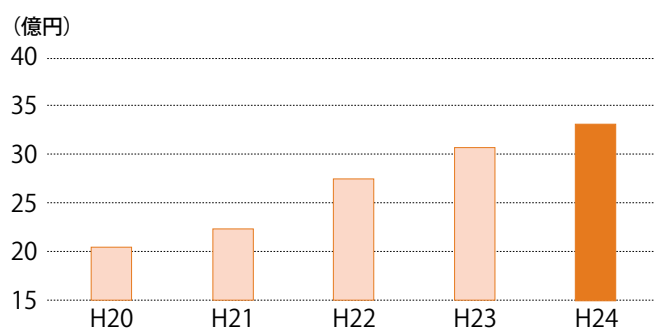
財政力指数



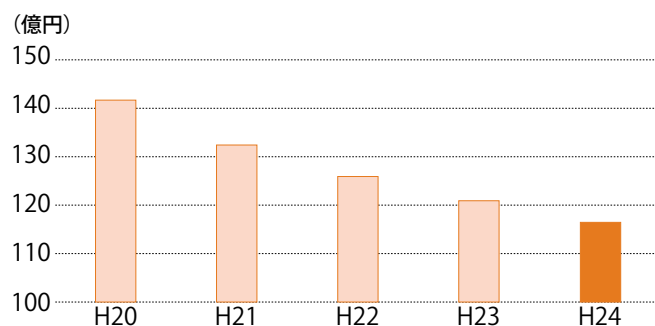
経常収支比率



基金残高（普通会計）



町債残高（普通会計）



普通会計：一般会計と住宅新築資金等貸付事業特別会計などを合わせた会計です。